

宮城県総務部市町村課

中津留 裕之

復興の最前線!!

常に変化し続ける。

1年目は予算要求、2年目は税制改正要望にシンポジウム、3年目は地方財政に復興関係。総務省に入省し3年、既に3箇所目となりました。若いうちから色々な業務を経験させてもらえる、それが総務省です。

現在私は宮城県庁で働いています。担当業務はもちろん、法律などの制度、そして自身も日々変化しています。東日本大震災の直後に宮城県へ来てから、まさに激動の1年でした。地方自治行政に携わる総務省職員として、そして一公務員として、非常に貴重な経験をさせていただいています。現在宮城県で復興関係の業務にも携わっていますが、復興へ向け日々変化しています。その中でまさに最前線である地方自治体で働いていることに、自身非常に大きな影響を受けています。

主役は市町村。

総務省では、地方自治体出身の方が多くいますが、現在私がいる市町村課にも、県内の市町村出身の方が沢山います。人生の先輩、公務員の先輩として日々色々と教えていただいています。

国で制度や政策を作ったりしていますが、それを実際に運用しているのは現場、まさに市町村です。震が関にいる時には聞こえてこない、実際の現場の声がここでは聞こえてきます。県は市町村を、国はさらに都道府県を含め、どうサポートしていくか考えさせられています。震が関で他省庁と議論を交わす際にも、実際のプレイヤーは地方自治体であるということを念頭に置くようにしています。そしてその声を届け、より良い制度作りに反映させていくことが総務省には求められていると思います。そういう意味で総務省は、国の視点、地方の視点、それぞれを持ち合わせて働くという、他省庁にはない魅力あるところです。

「人」との出会いを大切に・・・

仕事は“組織”です。しかし、仕事をうまく進めるためには“人”が大事だと思っています。総務省には良い人が沢山います。先に述べたこととあわせて、総務省の“人”に魅力を感じて入省を決めました。同期や先輩も同様の理由で入省を決めた人が何人もいます。総務省にいる2年間で出会った人、宮城県で出会った人とは、きっとこれからも続いていき、これからもお互い助け合う存在になると信じています。

「一期一会」これは私の座右の銘です。このような気持ちを忘れずにあります。今これを読んでいるあなたと会えることを楽しみに待っています！今の出会いを大切に・・・

PROFILE

平成21年4月 総務省採用
大臣官房秘書課 併任
大臣官房会計課

平成22年4月 自治行政局
地域自立応援課
過疎対策室

平成23年4月 現職

とある一週間

月曜日 朝から復興庁との会議。その後、復興交付金事業計画の策定支援のため、市町村へ訪問。やる気MAX!

火曜日 地方債の同意等手続きの準備。市町村財政への影響も大きいことから慎重にチェック。

水曜日 週の真ん中ということで、残りを元気に過ごすために、夜はリフレッシュしに同僚達と軽く飲みへ。ワクワク!

木曜日 市町村からの問い合わせや、国からの調査ものを処理していく。頭がパンクしそうだけど楽しい。勉強勉強。

金曜日 庁内で復興関係会議。今後の方針などの確認。もちろん夜は復興のためにも飲み会へ!今回は総務省の先輩と。

土・日曜日 樹氷を見て、スノボに行き、夜は温泉に入ってほっこり。来週に向けて癒し完了!!



市町村出身の県勤務の方々と1泊での分散会にて
(筆者2列目右から3人目)

地方自治体

海外

関係機関

留学